

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |   |            |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 49   | 職員の不足により、日常の基本的な介護支援が中心となっている。レクリエーションや散歩等の機会が充分提供できていない。  | 日々の業務と各入居者の日課や外出機会とをうまく結びつけ、余暇活動として楽しんでいただく(花壇の水遣り・ごみ出し等)。         | 人員体制を整えるとともに、日中の業務の時間帯やバランスの見直しを行い、基本的な介護業務のみに追われる事もなく、ゆとりを持って余暇活動や外出支援に取り組めるように工夫する。またウッドデッキ等の設備を利用したアクティビティを今以上に活用して行く。 | 6ヶ月        |
| 2        | 33   | 各入居者が重度化した場合や終末期の支援のあり方について、入居時には重要事項説明書に沿ってホームとして出来る範囲についての説明は出来ているが、個々のケースに沿ったところでの入居者又は家族との早い段階の話し合いが必要である。 | 重度化または終末期に入られた入居者について、本人或いは家族との話し合いを充分に行い、支援を行って行く。                | 本人・家族の意向を踏まえつつ、ホームとして出来る支援の範囲を十分に説明しておく。また職員に対しても十分な説明と打合せを行い、不安なく支援を行える環境を作り上げる。   | 6ヶ月        |
| 3        | 27   | 現在の介護記録が入居者によっては基本的な支援の記録が中心となっている事があり、その支援の際の様子(言動・表情・仕草等)が不十分な事がある。  | 基本的な支援の際にもその記録と共に、その入居者の様子やスタッフの気づきなども記録し、その方の生活の場である事がわかる介護記録にする。 | 介護記録用紙を工夫し、基本的な介護支援は簡単に記録出来るよう、更に改良して行く。対して自由記載欄の充実を心がけ、入居者の生活が見えるような記録を目指す。ユニット会議等で見直しを行う。                               | 6ヶ月        |
| 4        |      |  |  |   | ヶ月         |
| 5        |      |  |  |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。